

第4回京都会館再整備検討委員会

日 時 平成18年2月15日(水)午前10時~正午

場 所 京都市国際交流会館 第1,2会議室

出席者(五十音順,敬称略)

今西勝	株式会社ナウエストワン代表取締役社長
齊藤武夫	財団法人京都市音楽芸術文化振興財団専務理事
田中宏美	市民公募委員
田坪良次(副会長)	大阪人間科学大学教授,京都市立芸術大学名誉教授
段塚崇子	市民公募委員
ばんばひろふみ	歌手
中原昭哉(会長)	元京都女子大学教授
細井康雄	社団法人京都音楽文化協会理事長
松隈洋	京都工芸繊維大学助教授
青柳敏雄	京都市都市計画局公共建築部長
水口重忠	京都市文化市民局文化部長

欠席者(五十音順,敬称略)

鈴置雄三	株式会社サウンドクリエイター代表取締役社長
------	-----------------------

配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料1 「京都府合唱連盟,京都府吹奏楽連盟のアンケート結果」
- ・ 資料2 「京都会館再整備に係る方向性の検討」
- ・ 別紙1 「京都会館再整備に係るニーズ 項目別ニーズ整理表」
- ・ 別紙2 「再整備の方向性に関するニーズへの対応整理」
- ・ 別紙3 「再整備にかかる関連法制度の整理」

議 事

1 開会

2 意見交換

(1) 京都会館利用団体のアンケート調査結果について

【中原会長】

第4回検討委員会摘録

- ・ 「楽屋部分からロビーへ出る通路が危険である」との意見について、第1ホールを参加型として出演者と観客が入れ替わるように使われる各種団体の場合、このような問題があるということだが、改善の可能性はある。
- ・ 岡崎エリアの駐車場料金は高いという意見が出たが、びわ湖ホールの駐車場も高い。駐車場料金とレストランの利用意向は関係があると思う。現実的な意見であり、岡崎全体を条件に入れたセッティングをすることも重要である。

【田中委員】

- ・ 付帯施設について、レストランの問題もあるが駐車場の問題もあると思う。駐車料金が高い。公演を見た後に、駐車場に駆け下りるといった状況になる。
- ・ すばらしいレストランができて、駐車場の高いと魅力に欠ける。

【ばんば委員】

- ・ 岡崎の現状では、良いレストランでも採算が取れないと思う。この問題は岡崎エリアを全体としてどのようにしていくかのアプローチでなければならない。

【今西委員】

- ・ 楽屋について、会館職員と出演者の動線が交錯しており、プライバシーの確保ができない。改善すべき点である。
- ・ 第2ホールの評価として、現在の946席では不足で1,100席以上を希望する意見があるが、興行的には946席でも1,100席でもそんなに変わらない。

【ばんば委員】

- ・ 京都会館の楽屋は使い勝手が悪い。楽屋は演奏者が一番落ち着く場所であるが、そういう安らぎがないと思う。
- ・ 舞台規模について、大は小を兼ねるといった面もある。小さいのはどうしようもないが、大きいものは代用が利く。

【松隈委員】

- ・ 入口がひとつであっても、従業員が不用意に行かない落ち着いたスペースとして楽屋が考えられていないと、出演者がリラックスできない。動線やつながりにも配慮する必要がある。
- ・ 演奏中でもエレベーターを使いたいという要望は、市民参加型の催事を想定した意味だと思う。次々出演者が出入りするような場合に、他の団体が演奏中でも、舞台袖で待機するときの搬出入用にエレベーターが欲しいということであろう。

(2) 京都会館再整備の方向性 (1) 京都会館の位置づけについて

【齊藤委員】

- ・ ニーズ対応について、舞台袖の拡張、吊物機構、音響設備、照明設備については「再整備上可能であれば」というレベルで捉えられたら困る。設備は全体的に老朽化しているという認識の下で、必要性というレベルから言えば、シビアに考えて欲しい。

【ばんば委員】

- ・ 他のホールで使用する機材が京都会館では使えないという現状があり、これを変えなければなら

い。設備関係は全部が必須項目だと思う。

- ・ 楽屋の増設については抜本的な改善が必要である。

【松隈委員】

- ・ 会議場については、第3のホールと位置づけて、多様な形で積極的に使えるような施設改修プランが必要だと思う。

(3) 京都会館再整備の方向性(2)にぎわい創出について

【ばんば委員】

- ・ 京都会館の敷地内だけでしか考えられないということでは、ゾーンとして捉えられない。一体として改革していかなければならないと思う。

(4) 京都会館再整備の方向性(4)再整備の方向性概要比較について

【田坪副会長】

- ・ 比較表は要領よくまとめてあるので理解はできるが、A案、B案、C案以外にD案、すなわち建物として現状を維持しながら、別の場所も考慮するというのも問題提起してはどうか。
- ・ この建物の象徴的な価値を考えたとき、ひとつはあまり手をつけないという考え方がある。多少不便でも当初の設計を重視することも考えられる。

【松隈委員】

- ・ 前川國男が共同設計した東京の国際文化会館では、改修して耐震補強をして、壊さず大切に残して行こうという方針を選択した。これには日本建築学会も保存方法を具体的に提案するなど、全面的に協力している。
- ・ 歴史的価値を守りながら改修するには、歴史的価値の条件設定をすることが何よりも重要であり、それをきちんと踏まえながら、ニーズにいかに応えるのかの議論を尽くす必要がある。

【青柳委員】

- ・ 都市計画決定の手続きについては、B案、C案いずれにしても都市計画決定をして、法的にしっかりしてから整備しないと、特例の特例を繰り返して法律をないがしろにすることになる。

【水口委員】

- ・ 京都市としては広範な意見を聞いて計画を立てようと考えている。この委員会で広範な意見をいただいたうえで、京都市内部で法的な問題、費用の問題を含めて検討することになる。

3 閉会

A案、B案、C案

再整備の方向性についての案であり、A案：建物内部の改修、B案：一部増築を伴う改修、C案：全面建て替えを示す。